

株式会社 アロマジョイン

所在地
事業内容
TEL

京都市伏見区治部町 105 ACT 京都
香り制御技術装置等の開発及び販売
0774-98-6980

香り制御技術のリーディングカンパニー

香り制御技術を活用した嗅覚ディスプレイ「アロマシューター」の開発及び販売を行う。同製品を中心に、香りと連動したアプリケーションやゲームなどの多様なコンテンツの開発も手掛ける。

沿革

◆ 創業者の経歴

代表取締役の金東焯氏は、1995年に韓国より来日、2009年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士後期課程（嗅覚ディスプレイ専攻）修了。大学院卒業後、2009年～2014年の間、国立研究開発法人情報通信研究機構において、多感覚・評価研究室研究員として、嗅覚ディスプレイの研究開発、五感情報通信の一環として「香り制御装置」の研究開発に従事。

その後、香り制御装置の普及、また実用化を目指し、2012年10月にけいはんなプラザラボ棟において資本金6,000千円をもって当社を設立した。

◆ 起業に至る経緯

金氏の出身地である韓国に於いて、1980年にカラーテレビの放送が開始された。その際、金氏の実母が「カラーでテレビが見られるという時代だからいつかテレビから香りも出る時代が来るかも」と言ったことがきっかけで、大学院において「香りの出るテレビ」の研究を始めたことに由来する。

金氏は博士課程において、分子レベルでの香りの制御に成功。さらに、情報通信研究機構で、五感情報通信の中の特に嗅覚のデバイスを作る研究者として、5年間研究を行った。その成果を研究領域から実用化し、社会に貢献させたいとの考えからスタートしている。

特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴

【アロマシューター】



香り制御装置及び香源カートリッジの開発・製造・販売、香り制御装置連携ソフトウェア及びコンテンツの企画・開発・販売、香りコンテンツプラットフォームの構築・運用を手掛ける。

情報通信研究機構発のベンチャー企業で、金氏の「香りコミュニケーションで世界を変える」という想いの実現を目的に設立され、世界初の映像や音響と連動して、瞬時に香りの高速切り替え提示が可能な香り制御装置である嗅覚ディスプレイ「アロマシューター」の開発・製造及び販売を行っている。

映像や音響の変化に合わせて香りを切り替え提示するもので、同製品を中心に、香りと連動したアプリケーションやゲームなどの多様なコンテンツの開発も手掛ける。また、インターネットベースのユーザー参加型プラットフォーム

の構築にも取り組んでおり、「既存のメディアに香りを加えることで、新たな香りメディアの創出を目指す」としている。

◆ 強み・アピールポイント

主力となるアロマシューターの特徴について、当社の説明を借りるとすれば、香りの時空間制御技術（25件程度の特許を取得、知的財産も有している）を活用し、香りが残らないといった時間的な制御だけでなく、利用者が識別できる香り成分のみを鼻にめがけて噴射するといった空間的な制御を可能としている。デバイス内部構造においては、香気通路にベンチュリ管構造を設けることで流速を高め、同時に噴射口を絞る手法で香気の流れに指向性を持たせている。さらに、6種類の異なる香りカートリッジが装填可能なため、6種類の香りに加えて、香りを混ぜ合わせて提供することが可能な「調香機能」も備えているとしている。

また、デジタルサイネージシステムと組み合わせることで、新しいマーケティング・セールスプロモーションが可能になるとしており、各企業とのマッチングを展開している。

将来展望

◆ 今後の事業展開

5年後、10年後の目標とする到達点やロールモデル

香り制御技術のリーディングカンパニーとして、「嗅覚ディスプレイがあらゆるところに組み込まれ、かつ一人一台持つ時代と香りをつながる生活が当たり前になる文化と社会を実現する」を経営ビジョンとして、「嗅覚ディスプレイ」の製造販売を積極的に展開し、香りをデジタル化したコミュニケーションチャネルの創出を目的としている。

従来はものづくり主体であったが、今後は付加価値を付けたソリューションサービスの提案が重要であるとし、香り制御ソフトウェア及びコンテンツの企画・開発だけでなく、香り付きコンテンツプラットフォームの構築及び運営にも注力し、将来的には2025年の上場を目指すとしている。

◆ 今後新たに開発したい商材・サービス 拡充したい販路（ターゲット層）

香り付きコンテンツプラットフォームの構築及び運営については、昨今注目されているメンタルケア、健康経営、働き方改革の一環として、リラックス・リフレッシュルームなどを有する企業への提案も行う方針。

また、現在はいわゆるVR(Virtual Reality)、やYouTubeの開発者のほか、医療向け、心理学の研究者、企業の研究者、大学教授を対象とした販売となっており、API、iPhone開発に必要なSDKへの提供を推し進め、今後は動画・映像サービス向けのプラットフォーム、VRやYouTubeとの連動による当社サービスの普及に取り組み、将来的には個人への販売も行うとしている。

PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

当社のビジネスモデルについては、「香り」(嗅覚)に対して、単なる感覚の刺激を超えて、何か情報を与えて意味づけしていくというものである。例えば、天然ガスはもともと無臭であるが、臭いを加えることによって、人はそれを危険物と判断したり、また、金木犀の香りがかぐと、秋の季節感を感じたりすることができる。

「香り」は記憶に直接的にリンクすることから、「香り」をかぐと、実体験を思い出すこともできる。「香り」をこうした高次元の情報として扱い、瞬間的に制御することにより、新たなコミュニケーションチャネルへと展開していくことを目指している。

会社概要

設立：2012年10月

資本金：81,040千円

従業員数：14人

URL：<https://aromajoin.com/>

主力サービス開始時期：2020年10月